

農林水産省 植物防疫所

農林水産省では、消費者の視点を大切にして、食の安全確保のために全力を注いでいます。その中で、私たち植物防疫所の職員は空港や港を中心に全国津々浦々にネットワークを張り巡らし、日々、病害虫の侵入防止・被害拡大を防ぐために一丸となって検疫業務を行っています。

植物防疫所では、日本の植物に被害をもたらす海外からの病害虫の侵入を防ぐため、全国の主要な港や空港で「輸入検疫」を行っているほか、諸外国の求めに応じた「輸出検疫」を行います。

また、国内の一部で発生している病害虫のまん延を防ぐ「国内検疫」などの業務を行い、日本の農業と緑を守っています。

これらの目的を達成するため、植物防疫所の職場が全国50ヶ所以上に設置され、専門的な資格を有する植物防疫官が配置されています。全国各地で活躍出来る環境が整っている魅力ある職場でもありますので、興味を持たれた方は、ぜひ官庁訪問や各種説明会にお越しください。

Message from Staff

なぜこの仕事を選んだのですか？

農学部出身だったので、漠然と農業食料関係の仕事をしたと思っていました。この仕事に就いて、今は、日本の農業に役立てていると感じています。空港で外国から旅客が持ち込む植物を検査する仕事があるのですが、輸入禁止の果物から大量100匹ほどのミバエという害虫が見つかったことがあります。持ち込まれば大きな被害があったかもしれず、この時は、日本の農業を病害虫から守ったことを実感しました。就職前のイメージ



一般職農学区分採用

とはだいぶ違ったこともあります。公務員はデスクワークと思われがちですが、植物防疫官は船に乗り込んでトウモロコシを検査したり、空港で携帯品の検査をしたり等々と、デスクワークはもちろんありますが想像以上に現場での仕事が多くあります。私は虫が嫌いで、虫ばかり見ている仕事に抵抗感もあったのですが、そのような仕事だけではなく、人と接し、話す機会が想像以上に多くて良かったと思っています。携帯品の検査では、持ち込みの可否を旅客に説明しなければなりません。時には納得いただけずに長く説明することもあります。いかに納得いただけるように説明するか考えることにもやりがいを感じます。植物防疫所には色々な仕事がありますが、人と話し接することが好きな人にも向いている仕事と思います。

これまでどんな業務を担当してきましたか？

私は2014年に採用され、神戸植物防疫所(輸入検疫(貨物))、関西空港支所(輸入検疫(旅客))、広島支所(輸入検疫(貨物))に配属されたのち、現在の横浜植物防疫所塩釜支所に配属されました。塩釜支所では輸入検疫を担当後、現在は主に輸出検疫を担当しています。植物の輸出入においては、農業に被害を与える病害虫の侵入や蔓延を防止するため、日本を含めそれぞれの国が品目ごとに輸入条件を設けています。日本に輸入、逆に日本から輸出する植物が、これらの条件に適合しているか、病害虫が付着していないかを検査するのが私がこれまで携わってきた主な業務です。現在所属している塩釜支所では、港での製材やりんごなどの輸出検査のほか、相手国の要求により畑や果樹園に向いて検査する栽培地検査を行っています。塩釜支所の管轄地域は岩手県・宮城県・福島県ですので、上述の検査のために広い範囲を車で移動することが多く、苦労も多いですが、実際の生産農家さんから直接お話を聞けるため、自分のこなしている業務が農産物の流通の中で果たしている役割を実感することができる職場です。また、全国転勤もあるので、色々な土地で暮らしてみたい方にも合っていると思います。



精米の輸出検査風景

もっと詳しく知りたい方はこちらへ！

採用等に関する問合せ先:横浜植物防疫所総務部庶務課人事第1係

神奈川県横浜市中区北仲通5-57

電話:045-211-7150

ホームページ <http://www.maff.go.jp/pps/>

植物防疫所
公式キャラクター「びーちゃん」



植物防疫所
で検索してね!

